

令和7年度

# 北島小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導方法の改善
- ②学び合いを深めるための、望ましい学習規律・学習習慣の確立

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長	教頭	教頭
天野久美子	研修主任	1年主任	2年主任	3年主任
	4年主任	5年主任	6年主任	
	特別支援教育コーディネーター			

### 【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

## ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている児童が比較的多く、課題に真面目に取り組む児童が多い。 ●文章や資料を正しく読み取ること。 ●相手や場面に応じた話し方。 ●集中して聞くこと。	・学習ルールが定着している。 ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。(単元テストで8割達成できる児童を8割以上) ・身に付けた知識・技能を他の学習や生活の場面において、活用することができる。	・発問や板書の工夫、教材の精選、ICTの活用等で、分かる授業をする。 ・ドリルタイムや宿題を活用し、基礎的・基本的な内容の学習を継続する。 ・読書・音読を積極的に取り入れる。 ・可能な範囲で教科担任制を取り入れ、教材研究を深める。			

### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○教師や友達の意見をしっかりと聞き、肯定的に受け取る児童が多い。 ●自分の考えを分かりやすく話したり、書いたりすること。 ●友達の意見を聞いて、更に自分の考えを深めること。	・目的や相手を意識し、根拠や理由を明らかにして、積極的に自分の考えを話したり書いたりすることができる。 ・友達の考えのよさに気付いたり、自分の考えと比べたりして、更に考えを深めることができる。	・聴き方・話し方・話形・声の大きさのモデルを示す。 ・どの教科においても書く時間を確保し、自分の考えをもたせ、発表場面を設定する。 ・ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れ、話し合い活動を充実させる。			

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習に対して真面目に取り組むことができる。家庭学習の習慣が定着している児童が多い。 ●自分の意見や思いを話したり、書いたりすること。 ●自ら課題を見つけ主体的に学習すること。 ●困難な課題に対してあきらめず取り組むこと。	・学習規律が身に付き、進んで学習に取り組んだり、発表したりすることができる。(1日1回以上発表できる児童を8割以上) ・学習活動に見通しをもち、課題に落ち着いて取り組むことができる。 ・困難な課題に対して、粘り強く取り組むことができる。	・「授業のスタンダード」の活用。 ・ペア活動やグループ活動を効果的に取り入れ、互いに考えを伝え合い、学び合える場を設定する。 ・めあて、まとめを明確にし、学習の振り返りをする時間を確保し、次の学習への意欲を高める。 ・ICTを効果的に活用し、意欲を高める工夫をする。			

## 令和7年度 学力向上ロードマップ

